



friendship force
international

コロナ感染者が発生した際の対応について

2023年受入プログラム実施中、もしくは受入する前に渡航者の中でコロナ感染者が発生するケースがございました。今後も引き続き発生する可能性があります。その際、下記の要領でご対応をお願いできればと思います。

今年の事例をみますとアンバサダーが入国後、ある日数観光などをして、その間にコロナに感染し、ホストクラブへ行った後感染が確認されたケースでした。

従ってACには日本到着後は直接ホストクラブに行くよう事前に徹底をお願いしたいと思いますが、発生した場合は以下の対応をお願いします。

尚日本のクラブが渡航する場合も同様の対応を取るよう再度お願いします。

1. 受入前に感染者が発生した場合の対処と連絡について

・HCはACに渡航者全員の健康状態を確認して、感染者とそれ以外の渡航者のその後の予定を確認する。渡航者が検査キットを持っている場合、各自検査キットで感染しているか確認してもらう。すぐに金元まで連絡する。

・感染者以外の健康状態が悪くなくプログラムに参加する場合は、プログラム参加中、双方手洗いうがいをしながらか、無理ないように過ごし、すこしでも体調が悪くなった人が出た場合、様子を見る。

・プログラム終了後に、金元まで連絡をする。

2. 受入中に感染者が発生した場合の対処と連絡について

・HCは全員の健康状態を確認して、感染者を病院に連れて行き自宅から隔離する。

それ以外の渡航者については、感染の疑いがあるので、十分に注意をしながらプログラムに参加させるか決定する。金元まで連絡をする。

- ・1週目の受入プログラム中に発生した場合、直ちに2週目の受入クラブへ連絡をする。
- ・プログラム終了後に金元まで連絡をする。

3. フィーの返還またはエキストラ費用支払いについて

渡航者が来日中に感染した場合、それに伴うエキストラ費用については、保険でカバーいただくようお願いしていますので、基本的にフィー(FFフィー、ホストフィー)の返還はいたしません。

ホストファミリーが急遽体調不良等で受入ができなくなった場合、受入担当クラブは責任を持って代替案を提案し、**HCは先方のACと合意の上スティ先(ホテルスティを含む)を決定する。**

* 交流プログラム進行中は、責任者であるAC / HCの指示に従うとFF交流申込同意書に記載されていますので、基本的に進行中に予期せぬ事態、トラブルがあった場合は参加者はAC / HCの指示に従わなくてはなりません。

代替案で予定外のエキストラ費用がかかった場合は、ホストファミリーが負担することなく、渡航者がその場でお支払いするか、渡航者の保険でカバーしてもらいます。

また、1週目で感染者が発生した場合、受入クラブはFFIへ報告している日程を変更することなく、対処ください。

Director of Member Engagement
Allison Lindsey

Director of Asian Operations
Noriko Kanamoto